

非定型BSEについて

定型BSEと非定型BSEの違い

	定型BSE	非定型BSE
定義	BSEプリオンが主に脳に蓄積し、脳の組織がスポンジ状になり、異常行動、運動失調などを示し死亡すると考えられている疾病 英国で1986年に発生を確認	ウェスタンブロット法の結果（電気泳動像）が定型BSEとは異なるパターンを示すBSE
原因	BSEプリオンで汚染された飼料の経口摂取	発生原因の詳細は不明（孤発性の発生であることが示唆）
潜伏期間・摘発時年齢	平均潜伏期間は5～5.5年（潜伏期間はBSEの暴露量による）	ほとんどは8歳齢超で確認（6.3歳～18歳）
世界での発生数	約19万頭	92頭（2014年7月21日時点）
備考	—	ウェスタンブロット法の結果、定型BSEよりも無糖鎖PrP ^{sc} の分子量が大きいものをH型、小さいものをL型と呼ぶ。また、2011年にスイスでこれら以外の非定型BSE症例2例（8歳と15歳）が確認。

